

# I 庶務報告

## (1) 会員の異動状況

	平成26年2月現在	平成25年2月現在	増減
名誉会員	52名(含国外15)	52名(含国外15)	0
正会員	4,548名	4,518名	+30
賛助会員	19社	20社	-1
入会	正144名		
退会	正114名(含除名71名) 賛助1件		

### 物故会員(五十音順)-敬称略-

名誉会員 たかはし りょう  
高橋 良

正会員 いとう えみ いわさき けんじ おおしま たかこ ささき ゆたか  
伊藤 恵美、岩崎 賢二、大島 貴子、佐々木 優孝、

しょうじ ひろし なんじょう ぶんしょう ふゆき しんさく やまぐち まさる  
荘司 弘、南條 文昭、冬木 伸做、山口 将、

わかばやし しゅんじ  
若林 俊治

(以上 10名)

## (2) 会議に関する事項

### 1. 理事会

平成25年度第1回 平成25年4月4日(木)  
京王プラザホテル 4階 『みずき』  
議事 (1) 理事長の選出

平成25年度第2回 平成25年4月5日(金)  
京王プラザホテル 4階 『みずき』  
議事 (1) 常務理事の選任  
(2) 専門医認定委員、委員長の指名  
(3) 各種委員会の委員長および担当理事の推薦  
(4) 認定施設認定委員の推薦  
(5) その他

- 平成25年度第3回 平成25年7月5日(金)  
A P 品川 『R o o m-E』
- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件  
(2) 第22回基礎学術集会の件  
(3) 第57回総会・学術集会の件  
(4) 第23回基礎学術集会の件  
(5) 会務分担と各種委員会委員の調整  
(6) 平成25年度各種委員会活動方針ならびに予算案の件  
(7) 各種委員会報告の件  
(8) 会費滞納者除名に関する件  
(9) 新入会員・退会会員の件  
(10) その他
- 平成25年度第4回 平成25年11月6日(水)  
ホテル日航新潟 30F『鶴』
- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件  
(2) 第22回総会・学術集会の件  
(3) 第57回総会・学術集会の件  
(4) 第23回総会・学術集会の件  
(5) 第56回総会・学術集会の件  
(6) 平成25年度 会計中間報告の件  
(7) 各種委員会報告の件  
(8) 新入会員・退会会員の件  
(9) その他
- 平成25年度第5回 平成26年2月10日(月)  
A P 品川 『Room-E』
- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件  
(2) 第22回基礎学術集会の件  
(3) 第57回総会・学術集会の件  
(4) 第23回総会・学術集会の件  
(5) 第58回総会・学術集会の件  
(6) 平成25年度収支見込決算ならびに平成26年度予算大綱の件  
(7) 各種委員会報告の件  
(8) 名誉会員推戴に関する件  
(9) 評議員選挙管理委員会設置に関する件  
(10) 会費滞納に関する件  
(11) 新入会員・退会会員の件  
(12) その他
- 平成25年度第6回 平成26年4月8日(火)  
ホテルニュー長崎 3階『真珠の間』
- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件  
(2) 第57回総会・学術集会の件  
(3) 第58回総会・学術集会の件  
(4) 第59回総会・学術集会の件

- (5) 第23回基礎学術集会の件
- (6) 第24回基礎学術集会の件
- (7) 第25回基礎学術集会の件
- (8) 2013年度会計決算報告ならびに2014年度予算案の件
- (9) 名誉会員推戴に関する件
- (10) 各種委員会報告の件
- (11) 評議員選挙管理委員選出の件
- (12) 日韓形成外科学会の件
- (13) 日中形成外科学会の件
- (14) 会費滞納に関する件
- (15) 新入会員・退会会員の件
- (16) 評議員提出議題の件
- (17) その他

## 2. 評 議 員 会

平成25年度定例評議員会 平成25年4月2日(火)

京王プラザホテル 4階 『錦』

- |     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 議 事 | (1) 平成24年度年次報告の件                |
|     | (2) 次期役員(理事・監事)候補者選出の件          |
|     | (3) 平成24年度収支決算の件                |
|     | (4) 平成25年度事業計画の件                |
|     | (5) 平成25年度収支予算の件                |
|     | (6) 次期専門医認定委員選出の件               |
|     | (7) 一般社団法人移行の件(移行に伴う細則の変更)      |
|     | (8) 名誉会員推戴の件                    |
|     | (9) 第56回 総会・学術集会の件              |
|     | (10) 第57回(次期)総会・学術集会の件          |
|     | (11) 第58回(次々期)総会・学術集会の件         |
|     | (12) 第59回(次々々期)総会・学術集会会長候補者選出の件 |
|     | (13) 第22回 基礎学術集会の件              |
|     | (14) 第23回(次期)基礎学術集会の件           |
|     | (15) 第24回(次々期)基礎学術集会の件          |
|     | (16) 第25回(次々々期)基礎学術集会会長候補者選出の件  |
|     | (17) 日韓形成外科学会の件                 |
|     | (18) 日中形成外科学会の件                 |
|     | (19) 会費滞納者除名の件                  |
|     | (20) 評議員提出議題の件                  |
|     | (21) その他                        |

## 3. 総 会

平成25年度通常総会 平成25年4月4日(木)

京王プラザホテル 5階 『エミネンスホール』

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 議 事 | (1) 平成24年度年次報告の件 |
|     | (2) 平成24年度収支決算の件 |
|     | (3) 平成25年度事業計画の件 |
|     | (4) 平成25年度収支予算の件 |

- (5) 一般社団法人移行の件(移行に伴う細則の変更)
- (6) 名誉会員承認の件
- (7) 第56回 総会・学術集会の件
- (8) 第57回(次期)総会・学術集会の件
- (9) 第58回(次々期)総会・学術集会の件
- (10) 第59回(次々々期)総会・学術集会会長候補者承認の件
- (11) 第22回 基礎学術集会の件
- (12) 第23回(次期)基礎学術集会の件
- (13) 第24回(次々期)基礎学術集会の件
- (14) 第25回(次々々期)基礎学術集会会長候補者承認の件
- (15) 次期役員(理事・監事)候補者選任の件
- (16) 次期専門医認定委員承認の件
- (17) 日韓形成外科学会の件
- (18) 日中形成外科学会の件
- (19) 会費滞納者除名の件
- (20) 評議員提出議題の件
- (21) その他

## II 事業報告

### (1) 第56回日本形成外科学会総会・学術集会

会期：平成25年4月3日(水)、4日(木)、5日(金)

会場：京王プラザホテル

会長：平林 慎一 帝京大学医学部形成・口腔顎顔面外科学教室

下記の招待講演、特別企画、シンポジウム、教育セミナー、ガイドラインシンポジウム等が行われた。

#### 【招待講演Ⅰ】 第1日 4月3日(水)

司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦

『美の精神分析』

北山精神分析室 精神分析医 / 九州大学 名誉教授 /

国際基督教大学 客員教授 北山 修

#### 【招待講演Ⅱ】 第1日 4月3日(水)

司会 大阪大学形成外科 細川 亙

『可視化から可触化へ：Virtual 3D画像と臓器立体モデルを

融合した革新的手術ナビゲーション』

神戸大学大学院内科学講座消化器内科学分野 /

生命医学イノベーション創出人材養成センター 特命講師 杉本 真樹

#### 【招待講演Ⅲ】 第2日 4月4日(木)

司会 長崎大学形成外科 平野 明喜

『日本の専門医制度の行方』

日本専門医制評価・認定機構 理事長 /

早稲田大学理工学術院先進理工学部生命医科学科 教授 池田 康夫

- 【招待講演Ⅳ】 第3日 4月4日(木)  
 司会 金沢医科大学形成外科 川上 重彦  
 『プロフェッショナルの極意』  
 PEEK-A-B00 代表 川島 文夫
- 【特別企画Ⅰ】 第1日 4月3日(水)  
 司会 埼玉医科大学形成外科 中塚 貴志  
 北海道大学形成外科 山本 有平  
 『若手形成外科医の育成～マイクロサージャリー～』  
 Department of Plastic Surgery,  
 National Cheng Kung University Haw-Yen Chiu  
 北海道大学形成外科 古川 洋志  
 岡山大学形成外科 木股 敬裕  
 静岡がんセンター再建・形成外科 中川 雅裕  
 国立がんセンター東病院形成再建外科 櫻庭 実  
 新潟手の外科研究所 成澤 弘子  
 熊本機能病院整形外科 中島 英親  
 (特別発言)帝京大学整形外科 黒島 永嗣
- 【特別企画Ⅱ】 第1日 4月3日(水)  
 司会 藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子  
 岩手医科大学形成外科 小林誠一郎  
 『女性医師をどう育てるか～日本形成外科学会女性医師支援WGセッション～』  
 藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子  
 金沢医科大学形成外科 川上 重彦  
 京都大学形成外科 鈴木 茂彦  
 神戸大学形成外科 寺師 浩人  
 順天堂大学形成外科 水野 博司
- 【特別企画Ⅲ】 第1日 4月3日(水)  
 司会 北里大学形成外科・美容外科 内沼 栄樹  
 『これからの医療プレゼンテーション思考術』  
 神戸大学大学院内科学講座消化器内科学分野 /  
 生命医学イノベーション創出人材養成センター 特命講師 杉本 真樹
- 【特別企画Ⅳ】 第2日 4月4日(木)  
 司会 慶應義塾大学形成外科 貴志 和生  
 『データベース委員会報告～430施設60万件データが示す  
 形成外科の実情と今後の応用～』  
 沖縄県立中部病院形成外科 石田 有宏  
 東北大学形成外科 今井 啓道  
 兵庫医科大学形成外科 垣淵 正男  
 国立成育医療研究センター形成外科 金子 剛  
 岡山大学形成外科 木股 敬裕  
 慶應義塾大学看護医療学部 小林 正弘  
 市立四日市病院形成外科 武石 明精  
 徳島大学形成外科 橋本 一郎

横浜市立大学形成外科	前川 二郎
山口県立総合医療センター形成外科	村上 隆一
大阪大学形成外科	矢野 健二
国立成育医療研究センター形成外科	山野辺裕二
金沢医科大学形成外科	山元 康徳
弘前大学形成外科	横井 克憲

【特別企画V】 第2日 4月4日(木)

司会 徳島大学形成外科	中西 秀樹
千葉大学形成外科	佐藤 兼重

『形成外科における美容外科研修プログラム』

韓国形成外科学会理事長 / Department of Plastic & Reconstructive Surgery, Soonchunhyang University Bucheon Hospital	Kim Yong Bae
韓国形成外科医師会会長 / Global Plastic Surgery	Joh Seon-Pil
北海道大学形成外科	山本 有平
帝京大学形成外科	平林 慎一

【特別企画VI】 第2日 4月4日(木)

司会 新潟大学形成外科	柴田 実
-------------	------

『手の外科を目指す医師へ～手外科学会理事長に聞く～』

日本手外科学会 理事長 / キッコーマン総合病院整形外科	落合 直之
------------------------------	-------

【特別企画VII】 第2日 4月4日(木)

司会 昭和大学形成外科	吉本 信也
-------------	-------

『形成外科医の国際医療支援活動報告』

Department of Plastic Surgery, Ajou University Hospital	Myon Chul Park
新宿百人町アルファクリニック	与座 聡
東京西徳洲会病院形成外科	安井 佑
昭和大学形成外科	森岡 大地
東京衛生病院看護部手術部	石川 雄二

【特別企画VIII】 第2日 4月5日(金)

司会 東海大学形成外科	宮坂 宗男
アジア美容クリニック	鄭 憲

『美容外科を志す若手形成外科医師へ～美容外科開業医が本音で答える～』

自治医科大学形成外科	菅原 康志
横浜すずきクリニック	鈴木 敏彦
クリニックモリ	森 文子
あつぎ美容クリニック	市川 広太

【教育セミナー】 第1日 4月3日(水)

司会 国立成育医療研究センター形成外科	金子 剛
---------------------	------

『医療保険制度の改革と形成外科』

厚生労働省保険局医療課長	宇都宮 啓
--------------	-------

【シンポジウム1】 第1日 4月3日(水)

『Limb salvage の治療戦略～チームにおける形成外科医の役割』

- |       |                                  |                        |       |
|-------|----------------------------------|------------------------|-------|
|       | 司会                               | 香川大学形成外科               | 田中 嘉雄 |
|       |                                  | 東北大学形成外科               | 館 正弘  |
| SY1-1 | 重症下肢虚血救済のための形成外科の果たす役割と現状と課題     |                        |       |
|       |                                  | 一下肢温存群と大切断・状態悪化群の比較検討一 |       |
|       |                                  | 杏林大学形成外科               | 大浦 紀彦 |
| SY1-2 | 血管内治療かバイパス術か 形成外科の立場からの選択        |                        |       |
|       |                                  | 新須磨病院形成外科・創傷治癒センター     | 辻 依子  |
| SY1-3 | 膝下遠位バイパスにおける下肢救済のための新しいチーム医療     |                        |       |
|       |                                  | 一分業型遠位バイパスの検討一         |       |
|       |                                  | 佐賀大学形成外科               | 澤井貴和子 |
| SY1-4 | 形成外科医はゲートキーパーとして下肢への血流を要求すべきであり、 |                        |       |
|       |                                  | 救済すべきである               |       |
|       |                                  | 大分岡病院創傷ケアセンター形成外科      | 古川 雅英 |
| SY1-5 | 形成外科医を中心とする創傷治癒センターでのチーム医療       |                        |       |
|       |                                  | 八尾徳洲会総合病院形成外科・創傷治癒センター | 綾部 忍  |

【シンポジウム2】 第1日 4月3日(水)

『老化顔貌に対する非侵襲的治療戦略～メスを使わずにどこまで治せるか』

- |       |   |                    |        |
|-------|---|--------------------|--------|
|       | 司会  | 関西医科大学形成外科         | 楠本 健司  |
|       |   | 東京大学形成外科           | 吉村浩太郎  |
| SY2-1 | 機器を用いた治療でどこまで治せるか                             |                    |        |
|       |   | 東京女子医科大学形成外科       | 河野 太郎  |
| SY2-2 | スレッド単独でどこまで治せるか                               |                    |        |
|       |   | 八事石坂クリニック          | 大口 春雄  |
| SY2-3 | Ageing face : フィラー単独でどこまで治せるか?                |                    |        |
|       |   | 医) 建美会渋谷イースト・クリニック | 平井 隆   |
| SY2-4 | フィラーとスレッドでどこまで治せるか                            |                    |        |
|       |   | 昭和大学形成外科           | 清水 祐紀  |
| SY2-5 | PRP (platelet-rich plasma : 多血小板血漿) でどこまで治せるか |                    |        |
|       |   | 八尾市立病院形成外科         | 三宅ヨシカズ |
| SY2-6 | bFGF でどこまで治せるか                                |                    |        |
|       |   | 札幌医科大学皮膚科          | 小野 一郎  |

【シンポジウム3】 第2日 4月4日(木)

『人工物を用いた乳房再建』

- |       |   |                       |       |
|-------|---|-----------------------|-------|
|       | 司会  | 福岡大学形成外科              | 大慈弥裕之 |
|       |   | ブレストサージャリークリニック       | 岩平 佳子 |
| SY3-1 | インプラントによる乳房再建を行った症例の長期経過                        |                       |       |
|       |   | がん・感染症センター都立駒込病院形成外科  | 寺尾 保信 |
| SY3-2 | 人工物を用いた Immediate secondary reconstruction の有用性 |                       |       |
|       |   | 適応・合併症・放射線照射症例へのアプローチ |       |
|       |   | 医) Yanaga Clinic      | 矢永 博子 |
| SY3-3 | 杏林大学形成外科における人工物を用いた乳房再建                         |                       |       |
|       |   | 杏林大学形成外科              | 白石 知大 |

- SY3-4 乳癌補助療法による人工物を用いた再建乳房への影響  
東京女子医科大学形成外科 久保 和之
- SY3-5 放射線照射例に対する人工物再建の長期成績と考え方  
ブレストサージャリークリニック 岩平 佳子
- SY3-6 乳房インプラントと脂肪注入移植を併用した乳房再建  
～人工物の限界を超えるために～  
帝京大学形成外科 浅野 裕子

【シンポジウム4】 第3日 4月5日(金)

『加齢性眼瞼下垂の手術術式』

- 司会 信州大学形成外科 松尾 清  
蘇春堂形成外科 野平久仁彦
- SY4-1 ミュラー筋機械受容器伸展による上眼瞼挙筋遅筋の  
反射的収縮の回復をめざす  
信州大学形成外科 伴 緑也
- SY4-2 経結膜的挙筋腱膜前転術による加齢性眼瞼下垂の手術術式の検討  
慶應義塾大学形成外科 清水 雄介
- SY4-3 部分切開法眼瞼挙筋腱膜前転術の適応と術式の要点  
神戸大学形成外科 一瀬 晃洋
- SY4-4 複合疾患としてとらえた加齢性眼瞼下垂症の診断と治療  
クリニック宇津木流 宇津木龍一
- SY4-5 精度の高い眼瞼下垂症手術の方法  
蘇春堂形成外科 野平久仁彦

【ガイドラインシンポジウムI】 第1日 4月3日(水)

- 司会 東京女子医科大学形成外科 櫻井 裕之  
癌研有明病院形成外科 澤泉 雅之

『四肢再建』

- 東京慈恵会医科大学形成外科 松浦慎太郎  
東京医科大学形成外科 松村 一  
癌研有明病院形成外科 澤泉 雅之  
東京女子医科大学形成外科 櫻井 裕之

【ガイドラインシンポジウムII】 第1日 4月3日(水)

- 司会 埼玉医科大学総合医療センター形成外科 三鍋 俊春  
東京女子医科大学八千代医療センター形成外科 竹内 正樹

『殿部・外陰部の再建』

- 東京慈恵会医科大学附属柏病院形成外科 野島 公博  
東京女子医科大学八千代医療センター形成外科 竹内 正樹  
埼玉医科大学総合医療センター形成外科 塩川 一郎  
鹿児島市立病院形成外科 森岡 康祐  
松江市民病院形成外科 武本 啓  
千葉中央メディカルセンター形成外科 和田 邦生  
北野病院形成外科 月野 暁彦  
東海大学形成外科 山崎 明久  
済生会中央病院形成外科 田中 宝



【ガイドラインシンポジウムⅢ】 第2日 4月4日(木)  
 司会 筑波大学形成外科 関堂 充  
 名古屋大学形成外科 亀井 譲  
 『頭頸部再建Ⅰ 口腔、中咽頭、下咽頭・頸部食道再建』  
 岡山大学形成外科 木股 敬裕  
 静岡がんセンター形成外科 中川 雅裕  
 名古屋大学形成外科 八木俊路朗  
 東京大学形成外科 飯田 拓也  
 九州がんセンター形成外科 井上要二郎  
 京都府立医科大学形成外科 沼尻 敏明

【ガイドラインシンポジウムⅣ】 第2日 4月4日(木)  
 司会 筑波大学形成外科 関堂 充  
 東京医科歯科大学形成外科 岡崎 睦  
 『頭頸部再建Ⅱ 上顎、下顎、頭蓋、頭蓋底再建』  
 鳥取大学形成外科 中山 敏  
 市立池田病院形成外科 福田 健児  
 神戸大学形成外科 橋川 和信  
 国立がんセンター東病院形成外科 櫻庭 実  
 福井大学形成外科 安田 聖人  
 長崎大学形成外科 田中 克己  
 東京医科歯科大学形成外科 矢野 智之  
 杏林大学形成外科 成田 圭吾

【ガイドラインシンポジウムⅤ】 第2日 4月4日(木)  
 司会 千葉県こども病院形成外科 宇田川晃一  
 静岡県立こども病院形成外科 朴 修三  
 日鋼記念病院形成外科 坂本 泰輔  
 『臍ヘルニア、突出症』  
 財団法人倉敷中央病院形成外科 青木 久治  
 埼玉社会保険病院形成外科 高野 淳治  
 水戸済生会総合病院形成外科 芳賀 康史  
 伊那中央病院形成外科 近藤 昭二  
 徳島大学形成外科 石田 創士  
 横浜市立大学形成外科 安村 和則  
 宍倉病院形成外科 深谷 佳孝

## (2) 第22回日本形成外科学会基礎学術集会

会期：平成25年11月7日(木)、8日(金)

会場：朱鷺メッセ

会長：柴田 実 新潟大学医学部形成外科学講座

下記の招待講演、教育講演、シンポジウム、教育セミナー、ガイドラインシンポジウム等が行われた。

【招待講演1】 第1日 11月7日(木)  
 司会 帝京大学形成外科 平林 慎一

- 『原点の民』  
新潟大学脳研究所 総合脳機能研究センター長 中田 力
- 【招待講演 2】 第1日 11月7日(木)  
司会 新潟大学形成外科 柴田 実  
『Translational and Clinical Research to Minimize Immunosuppression  
for Vascularized Composite Allo-transplantation』  
ジョンズ・ホプキンス大学形成外科 W. P. Andrew Lee
- 【招待講演 3】 第2日 11月8日(金)  
司会 千葉大学形成外科 佐藤 兼重  
『Pedicled flaps for limbs:Philosophy, designing, tips and tricks』  
パリ大学整形外科 Alain C Masquelet
- 【教育講演】 第2日 11月8日(金)  
司会 慶応義塾大学形成外科 貴志 和生  
『細胞内タンパク質分解システムの異常と病態発症』  
東京都医学総合研究所 蛋白質リサイクルプロジェクト 小松 雅明
- 【スキルアップセッション1】 第1日 11月7日(木)  
司会 慶応義塾大学形成外科 永竿 智久  
『Photoshop を用いたメディカルイラスト作成法』  
自治医科大学形成外科 去川 俊二
- 【スキルアップセッション2】 第2日 11月8日(金)  
司会 東北大学形成外科 今井 啓道  
『見せる論文から、魅せる論文へ  
Keynote によるメディカルイラストレーション作成法』  
日本医科大学形成外科 小野 真平
- 【シンポジウム1】 第1日 11月7日(木)  
『培養組織治療の最前線』  
司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦  
順天堂大学形成外科 水野 博司
- S1-1 培養脂肪幹細胞の細胞分化制御と小胞体ストレス増強と  
アポトーシス誘導  
長崎大学形成外科 秋田 定伯
- S1-2 熱傷瘢痕を剥削した創面に自家培養表皮を移植した部位の  
表皮分化マーカーの発現  
川崎市立多摩病院形成外科 松崎 恭一
- S1-3 毛包再生医療1 ; 臨床応用を目指した毛包の器官再生技術  
東京理科大学基礎工学研究科 浅川 杏祐
- S1-4 ヒト耳介由来の弾性軟骨前駆細胞を用いた軟骨再生療法の開発  
神奈川県立こども医療センター形成外科 小林 眞司
- S1-5 軟骨細胞の two-stage transplantaiton 法を用いた新しい組織移植  
Yanaga Clinic&組織再生研究所 矢永 博子

【シンポジウム2】 第1日 11月7日(木)

『細胞治療の最前線』

- |      |  |                |       |
|------|--|----------------|-------|
|      | 司会   | 関西医科大学形成外科     | 楠本 健司 |
|      |  | 東京大学形成外科       | 吉村浩太郎 |
| S2-1 | 脱分化脂肪細胞 (DFAT cell) による血管新生促進効果の検討                                   | 日本大学形成外科       | 副島 一孝 |
| S2-2 | 脂肪由来細粒化基質 (Micronized Cellular Adipose Matrix:MCAM) による糖尿病性潰瘍の局所注入治療 | 東京大学形成外科       | 土居健太郎 |
| S2-3 | 自己血管幹細胞治療の最前線  | 順天堂大学形成外科      | 田中 里佳 |
| S2-4 | 次世代の血管新生治療の開発  | 新潟大学循環器内科      | 南野 徹  |
| S2-5 | 多血小板血漿 (PRP) 療法による創傷治療   | 関西医科大学形成外科     | 楠本 健司 |
| S2-6 | 自家骨髄由来細胞を用いた脊髄損傷の治療法の開発  | 田附興風会医学研究所北野病院 | 鈴木 義久 |

【シンポジウム3】 第2日 11月8日(金)

『臨床を橋渡しする解剖研究最前線』

- |      |  |                         |       |
|------|--|-------------------------|-------|
|      | 司会   | 香川大学形成外科                | 田中 嘉雄 |
|      |  | 埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 | 三鍋 俊春 |
| S3-1 | 新鮮冷凍解剖体を用いた形成外科手術手技の探求                         | 千葉県がんセンター形成外科           | 秋田 新介 |
| S3-2 | MDCT を用いた下肢リンパ管解剖の解明                           | 慶應義塾大学形成外科              | 山崎 俊  |
| S3-3 | 大胸筋の付着部位の異常が胸郭形態に与える影響に関する、構造解析を用いた検証          | 慶應義塾大学形成外科              | 永竿 智久 |
| S3-4 | PIP 関節拘縮の病態解明と治療法の開発を目標とする掌側板とその支持性構造物の運動生理の研究 | 京都大学形成外科                | 齊藤 晋  |
| S3-5 | 臨床を橋渡しする解剖研究 一口唇裂部                             | 昭和大学形成外科                | 土佐 泰祥 |

【シンポジウム4】 第2日 11月8日(金)

『顔面神経麻痺治療橋渡し研究最前線』

- |      |                                 |              |       |
|------|---------------------------------|--------------|-------|
|      | 司会                              | 福島県立医科大学形成外科 | 上田 和毅 |
|      |                                 | 兵庫医科大学形成外科   | 垣淵 正男 |
| S4-1 | 表情筋 (眼輪筋および口輪筋) に分布する顔面神経末梢枝の研究 | 千葉大学形成外科     | 三川 信之 |
| S4-2 | これからの顔面神経麻痺治療に必要な末梢神経再生に関する基礎研究 | 順天堂大学形成外科    | 林 礼人  |

- S4-3 脂肪組織由来間葉系幹細胞を細胞ソースとした顔面神経再生促進技術の研究  
東京警察病院形成外科・美容外科 渡辺 頼勝
- S4-4 ループ型神経移植を利用した顔面神経再建  
～基礎研究ならびに10年超の臨床応用経験を通して～  
大阪警察病院形成再建外科・美容外科 松田 健
- S4-5 顔面神経麻痺治療における治療前・治療後の評価方法の検討  
東京歯科大学市川総合病院形成外科 田中 一郎

【ガイドラインシンポジウム】 第1日 11月7日(木)  
『四肢の先天異常』

司会 名古屋大学形成外科 鳥山 和宏  
仙台医療センター形成外科 鳥谷部 荘八

ベルランド総合病院形成外科 坂井 靖夫  
庄内余目病院形成外科 富樫 真二  
大津赤十字病院形成外科 石河 利広  
厚木市立病院形成外科 岸 陽子  
長野赤十字病院形成外科 岩澤 幹直  
名古屋大学形成外科 鳥山 和宏  
埼玉手外科研究所形成外科 福本 恵三

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第33巻2号	平成25年 2月	61頁	4, 540部
第33巻3号	平成25年 3月	71頁	4, 490部
第33巻4号	平成25年 4月	72頁	4, 560部
第33巻5号	平成25年 5月	97頁	4, 580部
第33巻6号	平成25年 6月	83頁	4, 450部
第33巻7号	平成25年 7月	71頁	4, 560部
第33巻8号	平成25年 8月	76頁	4, 590部
第33巻9号	平成25年 9月	63頁	4, 590部
第33巻10号	平成25年10月	72頁	4, 580部
第33巻11号	平成25年11月	84頁	4, 570部
第33巻12号	平成25年12月	70頁	4, 570部
第34巻1号	平成26年 1月	77頁	4, 570部

(4) Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery を発行した。

第47巻1号	平成25年 3月	80頁	2, 100部
第47巻2号	平成25年 5月	80頁	2, 100部
第47巻3号	平成25年 6月	80頁	2, 100部
第47巻4号	平成25年10月	96頁	2, 100部
第47巻5号	平成25年10月	88頁	2, 100部
第47巻6号	平成25年12月	128頁	2, 100部

(5) 春季学術講習会及び秋季学術講習会を下記のとおり開催した。

1. 春季学術講習会

日 時：平成25年4月2日(火)

会 場：京王プラザホテル5F 『エミネンスホール』

題目および講師

テーマ1：『頭蓋顎顔面外科』と『専門医認定審査受験生に向けて』

1) 専門医認定審査受験生に向けて

埼玉医科大学形成外科 中塚 貴志

2) 頭蓋顎顔面外科の基礎事項

福岡大学形成外科 高木 誠司

3) 口唇裂口蓋裂の総合治療

川崎医科大学形成外科 稲川 喜一

4) クラニオフェイシャル・サージャリー

自治医科大学形成外科 菅原 康志

テーマ2：医療安全

5) 形成外科に関わる感染制御について

帝京大学形成外科 権太 浩一

帝京大学医学部附属病院感染制御部 松永 直久

2. 秋季学術講習会

日 時：平成25年11月6日(水)

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター2階『スノーホールB』

題目および講師

テーマ1：『再建外科』

1) 熱傷瘢痕拘縮の再建

日本医科大学 形成外科 小川 令

2) 体幹の再建

広島大学 形成外科 横田 和典

3) 四肢の再建

名古屋大学 形成外科 鳥山 和宏

4) 頭頸部再建

横浜市立大学 形成外科 前川 二郎

テーマ2：医療安全

5) システムエラー対策からヒューマンエラー対策へ

新潟大学医歯学総合病院 医療安全管理部 鳥谷部 真一

(6) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

平成25年度専門医合格者氏名(受付順敬称略)

北川 恵理	井上 真一	山口 憲昭	菊池 和希	永田 武士
柳下 幹男	佐野 仁美	渡邊未来子	湯田 竜司	高原 厚子
本田 進	桑原 大彰	道本真由子	原 伽倻	中嶋 幸仙
尾崎裕次郎	一宮 誠	永井 宏治	川副 尚史	原 尚子
三原 誠	久保麻衣子	遠藤 剛史	大西 薫	東郷智一郎
父川 興一	井原 玲	小久保健一	桑田 知幸	西浦 蘭子

草田 朗子	北村奈都子	木村 健作	杉本 佳陽	池村光之介
服部 千春	親松 宏	武田玲伊子	横溝 香奈	若槻 華子
大島 梓	恋水 諄源	丸山 陽子	万江由希子	桑原 大樹
政岡 浩輔	吉田 一暁	橋口晋一郎	吉井 聡佳	越宗靖二郎
峯 友梨	釜野 弥生	池田 憲一	大山 美奈	大島 将之
大坪 美穂	片山 裕子	南 享介	齋藤 八十	大杉 育子
林 殿聡	大和 良輔	匂坂 正信	蕨 雄大	奈良 慎平
山田 哲生	高田 悟朗	小野澤久輔	志藤 宏計	駒井慎次郎
池尻 充宏	五反田希和子	田中 宏明	増田 洋祐	縄田 麻友
三浦 孝行	浅見 崇	伊方 敏勝	福永 豊	鳥海 正博
戸所 健	樋口 朋子	鄭 聡柄	深井 恵	辻子 祥子
瀧上 淳太	小野健太郎	松田 佳歩	余川 陽子	吉本 聖
權 暁子	高木美奈子	佐藤 秀吉	大山 拓人	吉澤 秀和
諫山 哲也	山脇 孝徳	清家 志円	柳澤 大輔	小野 准平
渋谷 麻衣	福場美千子	白澤 保子	窪 昭佳	石椏 寛芳
中桐 僚子	神山 圭史	上田 真帆	藤井 貴子	玉田 崇和
今泉 明子	佐藤 顕光	外岡 真紀	木下 将人	宮地 有理
門田 英輝	岩永 紘征	木村 知己	高久 暢	大島希実子
福嶋 正則	會沢 哲士	上原 恵理	岡部 圭介	岡橋 怜
宇根 千尋	林 京子	末貞 伸子	高山 昌賢	

合計 1 2 9 名 (応募者 1 4 8 名)

(7) 日本形成外科学会認定施設の審査を認定施設認定委員会において行った。

平成26年度新認定施設名

【地 区】	【施 設 名】	【登録番号】
北 海 道	函館五稜郭病院形成外科	14-1031-000
	医療法人溪仁会手稲溪仁会病院形成外科	14-1032-000
東 北 関 東	山形県立新庄病院形成外科	14-2033-000
	新東京病院形成外科	14-3141-000
	東海大学医学部付属八王子病院形成外科	14-3142-000
	山梨大学医学部附属病院形成外科	14-3143-000
	横浜市立市民病院形成外科	14-3144-000
	北里大学メディカルセンター形成外科	14-3145-000
中 部 関 西	新松戸中央総合病院形成外科	14-3146-000
	せんぼ東京高輪病院形成外科	14-3147-000
	聖隷三方原病院形成外科	14-5088-000
	社会医療法人大雄会大雄会第一病院形成外科	14-5089-000
中 部 関 西	岐阜大学医学部附属病院形成外科	14-5090-000
	神戸赤十字病院・兵庫県災害医療センター 形成外科・創傷治療センター	14-6097-000
	宇治徳洲会病院形成外科	14-6098-000
	北播磨総合医療センター形成外科	14-6099-000
中国・四国	医療法人医誠会医誠会病院形成・美容外科	14-6100-000
	独立行政法人国立病院機構	

	四国こどもとおとなの医療センター形成外科	14-7043-000
	高知大学医学部附属病院形成外科	14-7044-000
九州・沖縄	長崎市立市民病院形成外科	14-8066-000
	国立病院機構別府医療センター形成外科	14-8067-000
	大分県厚生連鶴見病院形成外科	14-8068-000

(8) 日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A) 平成26年専門医更新者氏名(順不同敬称略)

伊藤 理	田幡 雅彦	本田 衣麗	櫻井 圭祐	長谷川正和
吉田 栄香	平沢 千尋	安村 恒央	金田 藤香	佐藤 伸弘
丹羽 幸司	飛田 晶	松末 武雄	宮本 純平	秋田 新介
森田 勝	山口亜佐子	舘 一史	小澤 剛	向井 英子
覚道奈津子	林田 健志	石田 創士	武田 孝輔	八木俊路朗
加藤 幸也	奥村 誠子	王丸 陽光	中森 大記	太田 智之
加地 竜士	新井孝志郎	冨塚 陽介	坂本 道治	平野 由美
小栗 章子	佐藤 典子	久保 一人	市川 明子	井内 友美
中村 陽子	谷川 知子	佐藤 英	工藤 勝秀	吉嶺 倫子
小松竜太郎	田中顕太郎	苅部 大輔	高津 州雄	吉田 行貴
雑賀 厚臣	柴田 知義	荒川 夏希	鈴木 理央	大谷 秀和
青井 則之	檉村 勉	石川 心介	井上 啓太	三上 誠
矢野 智之	新妻 克宜	矢加部 文	村松 英俊	森本 訓行
大橋 正和	五石 圭一	工藤 宏之	池野 由佳	渡邊 敏之
宮田 美穂	井口 有子	足立 孝二	入谷 哲司	市川 広太
稲見 浩平	田口 梨江	熊澤 憲一	大山 文乾	原田 美穂
田中 永紅	渡部 聡子	増口 信一	牧口 貴哉	酒井 新介
遠所 瑞拓	南村 愛	伏見 知浩	原田 雅奈	荒川 篤宏
牧野 太郎	深澤 大樹	松本 洋	小松 星児	荒尾 直樹
小西 和人	平田 佳史	中里 公亮	岡本 仁	羽多野隆治
高木 信介	伴 緑也	柏谷 元	三島 吉登	菅野 百合
青木 雅代	成瀬 栄美	阪場 貴夫	一氏 俊世	成田 圭吾
長西 裕樹	宇津木龍一	瀬野 久和	田所 丈嗣	土屋 裕一
寺田 伸一	栗谷川 彰	宮田 信之	寺井 勉	夏井 裕明
門松 香一	石原 剛	横内 哲博	義本 裕次	奥田 裕章
橋田 直久	林 博之	久島 英雄	藤井 勝善	飯田 直成
古川 雅英	市野 直樹	佐々木雄史	江副 京理	古川 元祥
田中 聡	町野 重昭	下間亜由子	大谷 謙太	副島 宏美
杠 俊介	鎌田 聡	舘 正弘	西村 篤	西本 聡
亀井 讓	近藤加代子	加藤 久和	大井 克之	松倉 知之
竹内 章晃	日笠 壽	江崎 茂	中東 和彦	高梨 真教
岡崎 正	木村 裕明	堀 直博	竹野 巨一	姫路 完
阿部 直樹	鈴木 健司	木村 哲治	大場 創介	片平 次郎
下田 勝巳	磯野 伸雄	河田 真作	小川祐一郎	原元 潮
吉龍 澄子	佐武 利彦	山崎 明久	村上 正洋	大木更一郎

高濱 宏光	棚橋 慎治	水沼 雅齊	大塚 佳子	今野みどり
佐瀬 道郎	千島 康稔	兼森 良和	一瀬 晃洋	西村 雄
林 正康	富樫 真二	本多 孝之	堤 清明	元村 尚嗣
林 いづみ	斉藤康太郎	坂本 泰輔	横山 明子	川添 剛
森戸 浩明	吉村 圭	野澤 竜太	中山 敏	田崎 公
小泉 正樹	福田 健児	福田 智	酒井 規	鵜飼 潤
中井 國博	松尾 由紀	都甲 武史	篠山 美香	伊東 信久
今井 香織	毛利 麻里	瀬渡 洋道	武田 睦	松尾 光一
チーナム倫代	中村 健	森田 昌宏	巢瀬 忠之	藤山 幸治
桑原 理充	北村理絵子	島田 茂孝	大久保 麗	高山 敦子
勝又 純俊	加地 展之	岩切 致	井上 淳	大野 正浩
伊藤 文人	北山 稔大	輪湖 雅彦	田中 早苗	菱沼 茂之

以上235名（対象者275名）

**B) 日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則第11条並びに専門医制度細則第29条第4項により専門医資格を取り消される者**

平良 達三	斎藤 喬	芳沢 正忠	田崎 治子	養父孝乃介
北條 元治	服部 禎子	竹中 基晃	秋田 浩二	久富 剛
石田 寛友				

**(9) 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医の審査を皮膚腫瘍外科指導専門医認定委員会において行った。**

平成25年度皮膚腫瘍外科指導専門医合格者氏名（受付順敬称略）

工藤 勝秀	野々村秀明	荻野 晶弘	林田 健志	橘田絵里香
華山 博美	大芦 孝平	大河内真之	木下 直志	小熊 孝
島田 卓治	大塚康二郎	宗内 巖	小泉 拓也	本多 孝之
加地 展之	小川 晴生	柏木 慎也	伊吾田慎一	戸澤 麻美
森 秀樹	見目 和崇	宮田弥千代		以上 23名



## (10) 各種委員会報告

### 1) 財務委員会

委員長：鈴木 茂彦

委員：亀井 譲、佐藤 兼重、細川 亙、山本 有平

開催年月日：メール委員会

主な議題：1. 平成 25 年度収支決算  
2. 平成 26 年度予算案

活動の概要：1. 平成 25 年度収支決算、平成 26 年度予算案について確認を行った。

### 2) 専門医認定委員会

委員長：細川 亙

担当理事：中塚 貴志

委員：岩澤 幹直、上田 晃一、大慈弥裕之、岡崎 睦、垣淵 正男、  
河合 勝也、楠本 健司、櫻井 裕之、佐藤 兼重、清水 祐紀、  
館 正弘、田中 克己、橋本 一郎、水野 博司、宮坂 宗男、  
宮脇 剛司、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成 25 年 11 月 22、23 日、②平成 26 年 1 月 23, 24, 25 日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査  
2. 専門医認定審査  
3. 審査法の検討

活動の概要：1. 平成 25 年度の専門医申請者 148 人に対し、平成 25 年 11 月 25, 26 日にホテルグランドヒル市ヶ谷にて提出書類に基づく審査を行った。この書類審査により、合格(減点なし)、合格(減点1)、合格(減点2)、不合格、に分類した。また、書類不備により判定できないものには書類の再提出を要請した。書類再提出要請者は 8 人であった。最終的に書類審査での判定は合格(減点なし) 143 名、合格(減点1) 3 名、合格(減点2) 2 名、不合格 0 人となった。

2. 書類審査合格者 148 人に対し、平成 25 年 1 月 23, 24, 25 日にホテルニューオータニにて筆記試験および口頭試問による審査を行った。筆記試験問題の一部は問題集から改変して出題した。医療法律問題は前年同様 1 問出題した。また、記述式問題を 1 問出題し、総合判定の際の参考資料とした。

筆記試験の結果は、最高点 100 点、平均 87.9 点であった。

3. 合否基準に関しては、書類審査の減点、筆記試験、口頭試問による総合評価とした。審査の最終結果は以下のごとくであった。

専門医審査申請者：148 人

資格(書類)審査不合格者：0 人

筆記・口頭試問不合格者：18 人 欠席者：1 人

専門医試験合格者：129人

合格率：87.8% (129/147)

4. 平成26年度の専門医認定日程について検討した。申請者の減少を考慮し、書類審査、筆記試験および口頭試問のいずれについても日程を短縮する方向で合意した。

### 3) 専門医生涯教育委員会

委員長：田中 嘉雄

委員：秋元 正宇、飯田 直成、岡田 雅、木村 得尚、久徳 茂雄、  
竹内 正樹、内藤 素子、中岡 啓喜、中東 和彦、西村 剛三、  
松村 一、迎 伸彦、森 弘樹

開催年月日：平成25年2月3日（更新審査委員会）

その他、適宜メール委員会

- 主な議題：1. 専門医資格更新審査  
2. 委員会承認の学術集会・研究会等の更新審査  
3. 学術集会・研究会等の新規登録申請の審査  
4. その他

活動の概要：1. 専門医資格更新審査

- i) 専門医資格更新審査対象者は275名で、更新を承認された者は235名（内、書類不備により返却し追加書類などの提出により更新を認めたもの7名）、追加書類など提出しても条件を満たさず更新を認めなかったもの1名、留保6名、未提出30名、退会者3名であった。
  - ii) 上記の内、65歳以上の方の該当は1名で未提出であった。
  - iii) 留保願いは6名で、6名全員の留保が1年認められた。
  - iv) 締め切り後の書類提出、参加章を台紙に貼付せず提出、締め切り後に審査料入金など、合計4名に警告文を送付した。
2. 委員会承認の学術集会・研究会等の更新審査  
更新対象の関連学会・研究会等16件につき、3年分のプログラムを確認し、16件の更新を承認した（内1件には警告文を送付した）。また、関連学会の地方会は3件の更新を確認した。
  3. 学術集会・研究会等の新規登録申請の審査  
学術集会、研究会の新規登録申込が「日本下肢救済・足病学会」「日本下肢救済・足病学会九州地方会」「日本褥瘡学会関東甲信越地方会」「Jikei Hand Forum」「兵庫形成外科集談会」「関東上肢先天異常症例検討会」「手先天異常懇話会」の7件あり、承認し、点数を付与した。承認された研究会および点数は会告に掲載予定。
  4. その他  
① 生涯教育基準点数において、「支部学術集会(8点)」と「地方会(6

点)」があり、地域によって開催回数に差がある為、不公平感があるという問題については、「同一研究会の算定は3回まで」と云う規定があるのでそれほど不公平ではないと、しばらく静観することになった。

- ② 診療実績書のサンプルによって審査がしやすくなったことから、来年度もこれを申請者に提示する。
- ③ 専門医資格更新審査手引きに下記のアンダーラインの文言を次年度から修正・追記することにした。

【手引き】

5. 専門医資格更新審査に必要なもの

4) 学術集会（関連学会、研修会等を含む）出席を証明するもの（本人と確認できる、氏名が記入された参加章、出席証明書等）

「参加章または出席証明書は原本、学会発表はプログラムの表紙と該当頁のコピー（表紙がない場合は日付、学会名を必ず明記すること）、論文は別刷の表紙のコピー及び関係部分を添付してください。」

6) 審査料30,000円（更新料10,000円を含む）

（追記）「また、審査料を納入したことが分かる証明書のコピーを同封してください。」

- ④ 専門医資格停止者（未提出、更新が承認されなかった方）や留保申請者が今後の資格申請にあたってどのような手続きが必要か、分かりやすくまとめたものをウェブサイトに掲載することになった。
- ⑤ 留保申請においても審査料を徴収してはどうかとの意見が出た。理事会で検討の結果、審査料として5千円を徴収することになった。その理由は、審査を行い、留保期間中は専門医資格も維持されるため。
- ⑥ 出産育児に関する留保期間について、理事会に下記のごとく改正案が提出され、全会一致の承認を得たことが報告された。次回評議員会にて、承認を得ることになった。

■専門医生涯教育制度細則

原文 第12条（本制度適応の留保） 海外留学、病気その他委員会が妥当と認める理由があれば、その間その個人につき本制度の適応は留保される。なお、留保期間中専門医資格は有するものとする。

改定 第12条（本制度適応の留保） 海外留学、病気、出産、育児、その他委員会が妥当と認める理由があれば、その間その個人につき本制度の適応は留保される。なお、出産、育児に関しては、留保期限は原則1年間とする。留保期間中専門医資格は有するものとする。

#### 4) 専門医試験問題作成委員会

委員長：吉本 信也

委員：青木 久尚、伊藤 文人、伊藤 芳憲、今川孝太郎、大浦 紀彦、  
大竹 尚之、柏 克彦、門松 香一、岸邊 美幸、黒木 知明、

桑原 理充、小藺喜久夫、佐武 利彦、谷口 泰徳、土佐 泰祥、  
中井 國博、野村 正、福屋 安彦、矢野 浩規、山元 康徳、  
杠 俊介、横田 和典、米田 敬

開催年月日：平成 25 年 11 月 7 日、メール委員会 数回

活動の内容：1. 2 年計画で、各委員が割り当てられた既出問題の中から、一人 50 題  
に解説を付けてもらい、また、訂正するところがあれば訂正して頂く。  
更に、全範囲から、新作問題 2 題（解説付き）、図付き問題 2 題（解  
説付き）を作成して頂くこととし、現在その作業中である。  
2. 2 月末まで作業が終わって、各委員から集まった分は、問題集の CD  
作製会社に送っているので、その分は改訂される。

## 5) 認定施設認定委員会

委員長：清川 兼輔

委員：木股 敬裕、木村 中、菅原 康志、多久嶋亮彦、田中 一郎、  
西野 健一、深水 秀一

開催年月日：①平成 25 年 11 月 7 日

②平成 26 年 2 月 7 日：2013 年度認定施設認定委員会

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の更新認定と新規認定審査  
2. 形成外科としての独立が不明瞭な施設についての検討

活動の概要：1. 本年度の認定施設・教育関連施設の更新および各新規申請の審査結  
果は次の通りである。

i) 認定施設更新申請は 293 であり、うち 282 が更新認定された。  
9 施設は教育関連施設への転換となった。2 施設は資格取り下げ  
となった。

ii) 教育関連施設更新申請は 167 施設であり、うち 146 施設が更新  
認定された。13 施設は認定施設への昇格が承認され、1 施設は  
教育関連施設美容外科への移行が承認された。7 施設は資格取り  
下げとなった。

iii) 新規認定施設申請は 22 施設であり、うち 22 施設が認定され  
た。新規教育関連施設申請は 33 施設であり、うち 33 施設が認  
定された。

2. 形成外科としての独立が不明瞭な施設について

独立が不明瞭な 7 施設(①大阪市立大学医学部附属病院形成外科、  
②奈良県立医科大学附属病院形成外科、③愛媛大学医学部附属  
病院形成外科、④大分大学医学部附属病院形成外科、⑤山梨大  
学医学部附属病院形成外科、⑥高知大学医学部附属病院形成外  
科、⑦岐阜大学医学部附属病院形成外科)については、1) 明ら  
かに独立していることが分かる「形成外科の売上表」などの資  
料、2) 病院の組織図、3) 申請責任者より「他の基本診療科の

研修施設となっていない」旨の一筆・捺印の書面、の3点について追加資料の提出を求めた。その結果、7施設とも認定施設として認定された。しかし、このうち②と③については、「形成外科センター」として申請がなされており、独立性に疑問があるため1年限りの更新とし、今回は診療科もしくは講座としての更新申請を要請する旨を通知した。

#### 5-i) 研修プログラム作成部会

部会長：清川 兼輔

委員：多久嶋亮彦、田中 一郎、西野 健一、深水 秀一

開催年月日：平成25年11月7日、その他適宜メール委員会

主な議題：形成外科専門医研修カリキュラムならびに研修プログラムの作成

活動の概要：日本専門医制度評価・認定機構に提出する形成外科専門医研修カリキュラム（案）ならびに研修プログラム久留米大学モデル（案）を作成し委員会で修正後、理事会へ提出した。

#### 6) 学術委員会

委員長：柴田 実

委員：秋田 定伯、秋月 種高、安藤 和正、市岡 滋、稲川 喜一、岡崎 睦、小川 令、光嶋 勲、櫻井 裕之、菅原 康志、高木 誠司、高野 敏郎、武田 啓、永竿 智久、西本 聡、橋川 和信、福本 恵三、松浦慎太郎、山脇 吉朗、杠 俊介、横田 和典

開催年月日：①平成25年4月2日、②平成25年11月6日、メール委員会随時

主な議題：1. 平成25年度春季学術講習会の件  
2. 平成25年度秋季学術講習会の件  
3. 平成25年度学術奨励賞

活動の概要：1. 平成25年4月2日(火)京王プラザホテルにおいて平成25年春季学術講習会を「頭蓋顎顔面外科」と「専門医認定審査受験生に向けて」、「医療安全」のテーマで開催した。参加申し込み310名であったが、完全受講者305名であった。  
2. 平成25年11月6日(水)新潟朱鷺メッセにて平成25年秋季学術講習会を「再建外科」、「医療安全」のテーマで開催した。参加申し込み202名、完全受講者196名であった。  
3. 平成25年度学術奨励賞は、機関誌以外部門からの公募で、計24編(基礎部門15編、臨床部門9編)の応募があった。候補論文5編(基礎部門2編、臨床部門3編)と機関誌編集委員会より選定された機関誌部門候補論文4編(基礎部門2編、臨床部門2編)の合わせて9編を理事会に上申し、以下の4編が学術奨励賞に決定した。

《学術奨励賞》

【基礎部門】

妻野 知子 氏 近畿中央病院形成外科

『A new mouse model of impaired wound healing after irradiation.』

Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery. 2013;Vol.47(2):83-88.

大芦 孝平 氏 北海道大学医学部形成外科

『Pathophysiological characteristics of melanoma in-transit metastasis in a lymphedema mouse model.』

J. Invest Dermatol. 2013;Vol.133:537-544.

【臨床部門】

永竿 智久 氏 慶應義塾大学医学部形成外科

『Not only “nurture”, but also “nature”, influence the outcome of zygoma repair.』

Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery Vol.47-6: 484-488, 2013.

秋田 新介 氏 千葉大学医学部附属病院形成外科

『Early diagnosis and risk factors for lymphedema following lymph node dissection for gynecologic cancer.』

PRS, Vol.131: 283-290, 2013.

6-i) ガイドライン作成部会

部 会 長：清川 兼輔

委 員：秋田 定伯、大城 貴史、柏 克彦、菊池 雄二、関堂 充、  
寺師 浩人、土佐 泰祥、三鍋 俊春

開催年月日：平成 25 年 4 月 5 日（金） 8 時～9 時

（第 56 回日本形成外科学会総会開催時）

主な議題：ガイドライン作成の進捗状況について報告

メール委員会（頻回）：

1. 委員への案配信および意見徴収、統括責任者への差し戻しおよび修正依頼
2. 理事会でガイドライン案の検討および承認

開催年月日：平成 25 年 11 月 8 日（金） 12 時～13 時

（第 22 回日本形成外科学会基礎学術集会）

主な議題：ガイドライン作成の進捗状況について報告会

メール委員会（頻回）：

1. 委員への案配信および意見徴収、統括責任者への差し戻しおよび修正依頼
2. 理事会でガイドライン案の検討および承認

## 6-ii) 用語部会

部 会 長：柴田 実

委 員 員：久徳 茂雄、清澤 智晴、鳥山 和宏、永竿 智久、野瀬 謙介、  
松村 一

開催年月日：①平成 25 年 4 月 4 日、②平成 25 年 11 月 7 日

活動の概要：用語集について：日本医学会用語事典の和英辞書から入ると形成外科用語集に入れます。

使い方は keiseigeka 団体資格で log in し、和英辞書から入ると形成外科用語集が使えます。当面、この使用法と問題点を検討中。現在までに、とくに問題点の指摘はない。

活 動 方 針：今後は日本医学会の載っていない重要な形成外科用語を選択して医学会辞書に登録してもらうための作業が必要かどうかを検討。

## 7) 機関誌編集委員会

委 員 長：上田 和毅

担 当 理 事：小林誠一郎

委 員 員：朝村 真一、石田 有宏、市岡 滋、稲川 喜一、今井 啓介、  
上村 哲司、漆館 聡志、大城 貴史、大西 清、岡崎 睦、  
小川 令、柏 克彦、小室 裕造、島田 賢一、関堂 充、  
館 正弘、田中 克己、鳥山 和宏、中川 雅裕、永竿 智久、  
野平久仁彦、橋川 和信、林 明照、深水 秀一、古川 洋志、  
朴 修三、本田 隆司、村上 正洋、森本 尚樹、横尾 和久、  
吉村浩太郎、四ツ柳高敏、渡辺 克益

開催年月日：平成 25 年 4 月 4 日 (木)

平成 25 年 10 月 1 日(火)メール編集委員会

平成 25 年 11 月 8 日(金)

活動の概要：1. 投稿論文進捗状況 平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日

①投 稿 数 102 編(原著 28、症例 74)

②掲載決定 43 編(原著 6、症例 37)

③進 行 中 39 編(原著 16、症例 23)

④待 機 中 11 編(原著 2、症例 9)

⑤却 下 3 編(原著 1、症例 2)

⑥取り下げ 2 編(原著 2)

⑦受付不可 4 編(原稿不備 4)

## 2. 二重投稿論文の件

吉田益喜、上埜剣吾、松下記代美、川田明（暁）、手塚正  
（近畿大学医学部皮膚科）

『日形会誌』22巻12号 pp826～830, 2002「慢性殿部滑液包炎の1例」

『臨床皮膚科』57巻8号 pp702～704, 2003「慢性臀部滑液包炎の1例」

①『日形会誌』第33巻第12号：会告「二重投稿論文の掲載抹消について」掲載

②医中誌 web【撤回論文】処理完了

## 3. 学術奨励賞候補論文推薦論文選出について

平成24年度学術奨励賞候補論文として日形会誌(Vol. 33, No. 1～12)から2編、JPSHS (Vol. 47.No. 1～No. 6) から3編、計5編\*を学術委員会へ推薦した。

\*日形会誌から推薦の1編は奨励賞の対象外となったため、次点をJPSHS から推薦し直した。

## 4. 全ページカラー化について

現状カラー掲載は実費著者負担であるが、会告、後抄録等も含めてコート紙に統一のうえ、学会負担で全ページカラー化することが2月10日の理事会で承認された。

## 5. Medline への掲載申請について

平成25年8月29日：web申請

平成25年8月30日：『日形会誌』33巻5号～8号送付

## 8) 渉外・広報委員会

委員長：山本 有平

委員：赤松 正、朝戸 裕貴、今井 啓道、小山 明彦、鈴木 健司、  
中川 雅裕、橋川 和信、三鍋 俊春、元村 尚嗣、森 弘樹、  
安田 浩、矢野 健二

開催年月日：メール委員会数回

主な議題：学会レターヘッドの作成

活動の概要：1. 学会レターヘッドの作成

2. 学会誌ニュースレター内容の管理

3. HPに関するバナー広告管理や転載許可申請管理

4. 報道機関向け話題提供の会の開催

## 9) 国際委員会

委員長：中塚 貴志

委員：佐藤 兼重、鈴木 茂彦、中西 秀樹、百束 比古

開催年月日：適宜 e-mail 委員会



- 主な議題：1. 国際形成外科学会 (IPRAS) の現状について  
 2. アメリカ形成外科学会 (ASPS) との連携について  
 3. 国際会議の広報について  
 4. 関連学会 (ISAPS、日韓・日中形成外科など) について

- 活動の概要：1. IPRAS に関する情報の収集と理事会への報告  
 2. ASPS からの提案に関する情報の収集と理事会への報告  
 3. 広報などを通じた関連国際会議への支援

(付記：4月10日(木)に ASPS 理事長等と会談予定)

## 10) 社会保険委員会

委員長：金子 剛

委員：相原 正記、井砂 司、井上要二郎、宇田川晃一、大久保文雄、  
 大城 貴史、大西 清、荻野 浩希、垣淵 正男、川嶋 邦裕、  
 小室 裕造、島田 賢一、関口 順輔、関堂 充、土井 秀明、  
 鳥山 和宏、難波祐三郎、二ノ宮邦稔、野村 正、前川 二郎、  
 村上 正洋、村上 隆一、矢野 健二

開催年月日：①平成25年4月3日(全体)、②平成25年11月7日(全体)  
 ③平成25年12月10日～20日メーリングリストによる委員会  
 ④その他 適宜 e-mail 委員会

活動の概要：1. 平成26年度改正要望について

①厚労省ヒアリングにおいて日形会からの要望内容を説明した。

日時：平成25年8月19日 17:30～18:00

会場：オランダヒルズ森タワー24階会議室

参加者：関堂委員、大西委員、村上委員、朝戸裕貴理事 (JOPBS 教育研修委員長として)、金子委員長

②日形会からの改正要望のうち、今回の改正項目に含まれるものの一覧

	要望内容	改定内容
新設	乳房再建術 (ゲル充填人工乳房によるもの)	K476-4 ゲル充填乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後) 25,000 点 (一次再建で K476 乳腺悪性腫瘍手術と併施した場合は 50%の算定)
	乳房皮膚延長術	K022 組織拡張器による再建手術 (一連につき) 1. 乳房 (再建手術) の場合 17,580 点 (一次再建で K476 乳腺悪性腫瘍手術と併施した場合は 50%の算定)
	乳房再建術 (遊離皮弁によるもの)	K017 遊離皮弁術 (顕微鏡下血管柄付きのもの) 1. 乳房再建術の場合 84,050 点 (増点)

	局所陰圧閉鎖処置（単回使用によるもの）	J003-2 局所陰圧閉鎖療法（入院外）（1日につき） 1. 100 cm <sup>2</sup> 未満 240 点 2. 100 cm <sup>2</sup> 以上 200 cm <sup>2</sup> 未満 270 点 3. 200 cm <sup>2</sup> 以上 330 点
	デブリードマン（水圧式ナイフによるもの）	K002 デブリードマン 水圧式デブリードマン加算 2,500 点
改正	組織拡張器による再建手術（一連につき）：一連につきの削除	一連の範囲を、組織拡張器の挿入、生理食塩水等の注入及び組織拡張器の除去と規定
	乳房再建術の名称変更：一期・二期→一次・二次	要望どおり

### ③形成外科に関連する医療行為において増減のあった項目

#### a. 増点

- K002 デブリードマン  
3. 3,000 cm<sup>2</sup> 以上 6,250→7,600 点▲
- K017 遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付きのもの）  
1. 乳房再建術の場合 74,240→84,050 点▲  
2. その他の場合 74,240→84,050 点▲
- K059 骨移植術（軟骨移植術を含む。）  
2. 同種骨移植（生体） 16,730→20,770 点▲  
3. 同種骨移植（非生体） 14,770→18,300 点▲

#### b. 減点

- K035-2 腱滑膜切除 8,790→7,550 点▼
- K047-3 超音波骨折治療法（一連につき） 5,000→4,620 点▼
- K215 瞼板切除術（巨大霰粒腫摘出） 1,580→1,440 点▼
- K223 結膜のう形成手術  
1. 部分形成 2,460→2,250 点▼
- K229 眼窩内異物除去術（表在性） 9,580→8,240 点▼
- K234 眼窩内腫瘍摘出術（表在性） 7,640→6,770 点▼
- K291 耳介腫瘍摘出術 5,320→4,730 点▼
- K413 舌腫瘍摘出術  
2. その他のもの 3,140→2,940 点▼
- K421 口唇腫瘍摘出術  
2. その他のもの 3,370→3,050 点▼

### ④DPC 関連

以下の項目の手術・処置等 2 に J003 局所陰圧閉鎖療法（入院）が定義された。

080250 褥瘡潰瘍

100100 糖尿病性足病変

⑤要望項目のうち次年度以降に持ち越しのもの

画像等手術支援加算

2. 実物大臓器実体モデルによるもの：増点

画像等手術支援加算

1. ナビゲーションによるもの：対象手術の拡大

創外固定加算：対象手術の拡大

ICGによる赤外線蛍光リンパ管・リンパ節造影：新設

陰茎再建術（尿道再建を伴うもの）：新設

乳房縮小術（性別適合手術におけるもの）：新設

2. 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連

①外保連委員

以下のように委員会に所属して活動を行った。

手術委員会：関堂委員、二ノ宮委員

(手術委員会) コーディングワーキンググループ：相原委員

(手術委員会) 医療材料・医療機器ワーキンググループ：

前川委員、金子委員長

処置委員会：関口委員(委員長)、小室委員、荻野委員

(処置委員会) 輸血ワーキンググループ：関口委員

検査委員会：二ノ宮委員、荻野委員

実務委員会：関堂委員

なお関口委員は平成 25 年度をもって外保連委員を勇退された。

3. 日本医師会疑義解釈委員会・保険適用検討委員会関連

委員長が委員として参加している。以下の案件について保険適用可との答申を行った。

AO Matrix MANDIBLE Reconstruction システム：平成 25 年 7 月 17 日

4. 先進医療・高度医療関連

委員長が先進医療技術評価部会に構成員として参加している。形成外科関連の案件なし。

5. DPC 関連

委員長が MDC16 班の班長（形成側）、井砂委員、秋元正宇先生（社保委員外、日本医大北総医療センター）が班員として参加している。

CCP マトリクス勉強会：平成 25 年 5 月 8 日 臨床的に意味のある分類を残しつつ、医療資源必要度が類似したグループをまとめて支払いの簡素化を図るシステムであり、今後導入が検討されている。

第一回班長会議：平成 25 年 10 月 3 日 様式 1 の見直し案の検討を行った。その後 MDC16 副傷病名の整理を行った。

また横断的検討のため以下の様に分担して検討し、MDC6, 7, 8, 9, 10 について意見を提出した。

MDC2 眼：大久保委員

MDC3 耳鼻科：村上委員

MDC7 筋骨：二ノ宮委員

MDC8 皮膚：相原委員（班員）

MDC9 乳腺：矢野委員

MDC14 先天異常：宇田川委員

MDC16 外傷：金子委員長（班長）、井砂委員（班員）、秋元先生（班員、日本医大北総医療センター）

6. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連

委員長と鈴木啓之先生（社保委員外、千葉こども病院）の2名が参加している。

7. 広報活動

①第 56 回日本形成外科学会学術集会において教育セミナーを開催した。

日時：平成 25 年 4 月 3 日（水）14：50 から 15：30

テーマ：医療保険制度の改革と形成外科

演者：宇都宮啓氏 厚労省保険局医療課課長

司会：金子委員長

②第 57 回日本形成外科学会学術集会において特別企画を予定している。

日時：平成 24 年 4 月 11 日（金）8:00 から 8:50

テーマ：平成 26 年度診療報酬改定について-厚労省のめざす診療報酬のありかたと形成外科への影響

演者：宇田川委員、関堂委員

司会：大西委員、金子委員長

なお平成 26 年度形成外科診療報酬早見表の配布を予定している。

8. その他

①医療ニーズの高い未承認医療機器等の早期導入に関する要望

オメガスキャナー（レーザー計測装置）について、前年度に申請を行った。その後厚労省側より、形状誘導ヘルメットに変更するよう指示があり 9 月に再提出を行った。なお導入希望企業は U & A 社。

②フィブラストスプレーの新鮮熱傷に対する適応についてメール委員会を行い理事長に答申した。

1 1) 倫理委員会

委員長：小林誠一郎

委員：岩波 正陽、内田 満、楠本 健司、鈴木 健司、内藤 素子、  
吉村 陽子

外部委員：北河 隆之、中木 敏夫、松木 邦裕

開催年月日：①2013 年 10 月 15 日（メール委員会）

②2013年11月7日（万代橋ビル6階）

- 主な議題：1. 二重投稿に係る処分について  
2. 罰則の不備、処分の手続きについて

活動の概要：1. 今回の二重投稿につき、内容を確認し、処分について検討し以下の様に理事会に上申した。

今回の2重投稿につきましては、他紙への投稿件数の多さなどを考慮すれば、確信的行為と判断し、以下の通り処分を決定しました。

1) 筆頭著者への処分

今後5年間、本学会誌への投稿禁止ならびに向こう1年間の会員資格停止とする。

2) 共著者への処分

今後3年間、本学会誌への投稿禁止とする。

以上の処分については、著者全員に通知するほか、本学会学会誌、ホームページ上で公表する。その際、学会としてのお詫びの言葉を追加する。医中誌等に削除した旨を通知する。

近畿大学学長もしくは学部長あてに処分内容ならびに論文を削除した旨を通知する。

2. 2重投稿の処分について検討する過程において、以下の点につき不備があるものと思われ、理事会に上申することとした。

1) 処分案件に対する調査委員会の設置ならびに懲罰委員会の設置などの手続き規定の整備。

2) 詳細な懲罰規定の制定。

### 1 1-i) 利益相反部会

部会長：田中 嘉雄

委員：内田 満、久徳 茂雄、角谷 徳芳

外部委員：北河 隆之

活動の概要：1. ホームページに掲載する利益相反に関する指針等の内容を確認した。

2. 役員、学会長、各種委員会委員長などへ自己申告書を送付した。

3. 自己申告書の回収状況を調査し、未提出者には再送付した。

4. 日本医学会分科会利益相反会議に出席した。

5. 日本医学会118分科会における医学研究に係る利益相反(COI)対応の現状アンケート調査への回答を行った。

6. 学術集会開催中に開催される企業主催のランチョンセミナー、イブニングセミナーにおいて、講演者に<COI状態の開示>を指導した。

### 1 2) 制度検討委員会

委員長：仲沢 弘明

委員：朝村 真一、武石 明精、本田 隆司、村上 正洋、森岡 康祐

開催年月日：第1回メール委員会 平成25年7月22日

主な議題：専門医生涯教育制度細則の修正について

現行の専門医生涯教育制度細則

第10条(資格更新に要する点数と日本形成外科学会学術集会参加義務)

日本形成外科学会専門医は一年平均30点以上\*5年間で最低150点の単位を獲得しなければならない。

\*:1年間で必ず30点以上獲得しなければならない、という誤解が生じていることに対して、以下のように修正した。

第10条(資格更新に要する点数と日本形成外科学会学術集会参加義務)

日本形成外科学会専門医は、5年間で最低150点の単位を獲得しなければならない。

開催年月日：第2回メール委員会 平成25年7月25日

主な議題：メール理事会の運用規定について

緊急の案件への対応として、「メール理事会」の運用規定について検討した。他学会を参考にして、現行の理事会運用規定に（議決の省略）を追加することになった。

（議決の方法）

第9条 理事会の議決を要する事項は定款および諸規定および諸細則の定めるところによる。

（議決の省略）(追加)

第10条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的方法により同意の意思を表示したときは、その提案を可決する旨の理事会の議決があったものとみなす。但し、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

2. 前項の電磁的方法とは、磁気ディスクその他これに準ずる方法により一定の情報を確実に記録しておくことができる物をもって調整するファイルに情報を記録する方法とし、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規定第89条に定めるものとする。

第10条を第11条に、以下繰り下げる。

### 13) 企画調査委員会

委員長：貴志 和生

委員：秋田 定伯、岸邊 美幸、佐々木 了、菅原 康志、寺師 浩人、三川 信之、力丸 英明

開催年月日：平成25年11月7日

その他、メール委員会を適宜行った。

主な議題：1. 平成25年度科学研究費の申請状況ならびに採択状況

2. DBのデータ提供依頼について、個別に検討

- 活動の概要：1. 申請(採択)状況につき、形成外科医育施設を中心とした68施設にアンケート調査を行い、55施設から回答が得られた。アンケート結果では、平成25年度の新規申請件数は190件で前年度とほぼ同数、新規採択数は64件で、前年度に比べ増加傾向にあった。本結果は、日本形成外科学会ホームページ上に公開した。今後も調査を行う予定である。
2. DBのデータ提供依頼が2件あった。個別にメール委員会で検討し、いずれも倫理的に、また利益相反上の問題はないと思われたので、DBのデータ提供を行うようDB管理部会に依頼した。

### 13-i) データベース管理部会

部会長：前川 二郎

担当理事：貴志 和生

委員：赤松 正、石田 有宏、今井 啓道、大久保文雄、金子 剛、  
木股 敬裕、高木 誠司、根本 充、橋本 一郎、広富 浩一、  
宮脇 剛司、村上 隆一、山野辺裕二、山元 康徳、義本 裕次

開催年月日：全体会議：①平成25年4月3日、②平成25年8月30日、  
③平成25年11月7日、④平成26年2月14日

e-mail委員会：多数回

- 主な議題：1. システムの大改定（次期データベースシステムの仕様）  
2. 2010-2012年次データの解析・検証作業  
3. 認定施設、教育関連施設に対するアンケート調査  
4. 研究計画書の改定・更新

- 活動の概要：1. 8月～11月：2010-2012年のデータ解析作業、問題点の抽出・検証  
2. 10月：疾患登録データベースアンケート調査  
3. 26年2月：NCD（National Clinical Database）開発運営担当者との  
意見交換  
：疾患登録システム計画書（第2版）のアップデート  
4. 26年4月：総会にて解析・検証結果の発表

## 5. 25 年次施設認定における D B 提出状況 (H25. 3. 11 まで)

		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
認定施設申請数	A	259	274	287	293
DB 提出施設数	B	238	273	284	292
DB 未提出施設数	C	21	1	3	1
DB 導入率 (%)	B/A	91.9	99.6	99.0	99.7
教育関連施設申請数	D	173	163	160	170
DB 提出施設数	E	149	159	157	168
DB 未提出施設数	F	24	4	3	2
DB 導入率 (%)	E/D	86.1	97.5	98.1	98.8
全施設 DB 導入率 (%)	B+E/A+ D	89.6	98.9	98.7	99.4
未提出の理由と対処					
紙ベースで提出		35	2	1	0
更新しないため未提出		10	3	5	3

### 6. 次期データベースシステムの仕様の確定作業

- ・データベース入力 Web 上で行う
- ・システムの主たる目的は「専門医申請」とする

### 7. 今後の重要点

- ・次期データベースシステムの運用準備 (H28 年運用開始を目指す)
- ・研究計画書の作成と配布
- ・今後のデータ公表の内容や方法について

## 1 4) 将来計画委員会

委員長：亀井 譲

委員：朝戸 裕貴、井砂 司、上田 晃一、大慈弥裕之、多久嶋亮彦、  
中西 秀樹、平野 明喜、三鍋 俊春、力丸 英明

開催年月日：①平成 25 年 4 月 5 日、②平成 25 年 11 月 7 日

主な議題：1. 関連領域の学会について  
2. 特定領域指導専門医について  
3. 女性評議員枠について

活動の概要：1. 手外科学会が、専門医機構の認める日形会と、日整会との二階建て学会となった。また、美容外科学会については検討中である。  
2. 乳房再建専門医についてはオンコプラスチック学会におけるガイドライン作成を待って、専門医を作ることになった。小児形成外科専門医については、委員会を立ち上げ、形成外科の中の指導専門医として進めていくこととなった。



3. 女性評議員については、2014 年日本形成外科学会総会の期間中に、女性 WG と話し合いを行うことになった。

#### 15) 医療安全推進委員会

委員長：磯貝 典孝

委員：内沼 栄樹、遠所 瑞弘、高木 誠司、根本 充、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成 25 年 11 月 7 日、②平成 25 年 1 月 25 日

- 主な議題：1. 医療安全に関する情報収集  
2. 医療用器材、医薬品の安全性に関する情報収集  
3. 関連領域学会との情報交換  
4. 1) ~ 3) の学会ホームページへの掲載

活動の概要：1. 以下を学会ホームページに掲載した。

- i) 「特に医療の現在に情報提供すべき内容を含んだ重要な事例」  
日本医療安全調査機構 (2013. 5. 9)
  - ii) 「医療ニーズの高い未承認医療機器等の早期導入に関する要望の募集」  
厚生労働省医政局経済課医療機器政策室 (2013. 5. 27)
  - iii) 「医薬品・医療機器薬事先約相談事業の実施について」  
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (2013. 7. 10)
  - iv) 「医療機器の不具合等報告の症例の公表および活用について」  
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (2013. 8. 13)
  - v) 「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の改正について」  
厚生労働省医政局長 (2013. 10. 8)
  - vi) 「医療安全全国フォーラム開催」  
日本医療安全調査機構 (2013. 10. 23)
  - vii) 「高血圧治療薬の臨床研究事案を踏まえた対応および再発防止策について (中間とりまとめ)」  
厚生労働省医政局長 (2013. 10. 22)
  - viii) 「医療機器の不具合等報告の症例の公表および活用について」  
厚生労働省医薬食品局安全対策課 (2014. 1. 9)
2. 医療安全全国共同行動設立シンポジウムに出席 (平成 25 年 6 月 16 日・イイノカンファレンスセンター) (磯貝委員長)  
職種や立場を超えた共同行動を通して医療安全を図る全国的な取り組みと、9つの具体的目標(危険薬、危険手技、周術期肺梗塞の防止など)が紹介された。  
平成 25 年 7 月 5 日・第 3 回理事会にて、医療安全全国共同行動の一般社団法人化に伴い団体会員として加盟することが決議された。
  3. 医療安全全国共同行動 連絡会議に出席 (平成 25 年 11 月 22 日・イイノカンファレンスセンター) (磯貝委員長)

医療安全に関わる具体的な取り組みとしては、現在、学術講講習会において医療安全テーマとして取り上げている。今後、学会プログラムの中で独立したテーマとして取り上げる方向で検討。

4. 日本医療安全調査機構 平成 25 年度トレーニングセミナーに参加（平成 26 年 3 月 1 日・国立国際医療研究センター）（磯貝委員長）  
“院内調査の精度を上げる”ためのセミナーでは、手術安全チェックリストの導入の徹底が強調された。また、院内事故調査を行う際に有用となるロンドンプロトコールが紹介された。
5. 日本医療安全調査機構 “診療行為に関連した脂肪の調査分析モデル事業”に出席（平成 26 年 3 月 10 日・日本外科学会会議室）（磯貝委員長）  
新“医療事故調査制度”（平成 27 年 10 月より施行予定）について説明があった。また、機構の今後の活動方針についても、追加説明があった。

## 16) 専門医統括会議

委員長：川上 重彦

委員：朝戸 裕貴、亀井 譲、貴志 和生、清川 兼輔、鈴木 茂彦、  
田中 嘉雄、中塚 貴志、平林 慎一、細川 亙、山本 有平、  
吉本 信也

開催年月日：①平成 25 年 4 月 4 日、②平成 25 年 7 月 5 日、③平成 25 年 11 月 8 日、  
④平成 26 年 2 月 10 日

主な議題：1. 日本専門医制評価・認定機構の報告  
2. 専門医制度における研修プログラムについて  
3. 「形成外科」独立のお願いについて  
4. 指導専門医について  
5. 皮膚腫瘍外科指導専門医以外の特定指導専門医制度について

活動の概要：1. 専認構発行の「専門医制度整備指針」を参照に、研修プログラムだけではなく、専門医施設基準、専門更新、専門医認定など、それぞれ該当する委員会で 2014 年度内に完成させるよう進める。  
2. 専認構発行の『平成 24 年度厚生労働省委託事業 専門医養成モデルプログラム等の作成 報告書(冊子)』に掲載されている「研修カリキュラム(モデル)」「研修プログラム(モデル)」を参考に作成。  
3. 2013 年 5 月 20 日付け、各医育機関に以下の要望書を提出した。  
・他科内形成外科診療班がある施設の担当教授宛：形成外科診療科独立のお願い  
・他科内形成外科診療班がある施設の病院長宛：形成外科診療科独立のお願い  
・形成外科が診療科として無い施設の病院長宛：形成外科開設のお願い

い

4. 指導専門医については、新規指導医制度開始後 3 年を目途に日形会の施設認定に関する制度変更も視野に入れて制度構築をはかる予定。
5. 『先天異常指導専門医』：委員長を金子剛先生とし、ワーキンググループを組織して頂き、1 年間で制度などを練って頂く。

『乳房再建指導専門医』：日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会で討議したところ、日本形成外科学会側で乳房再建指導専門医を整えるのは、乳腺外科側から見ても問題ないとのこと。指導専門医制度は乳房増大インプラントガイドラインの動向をみて進める。

## 17) 皮膚腫瘍外科指導専門医認定委員会

委員長：山本 有平

委員：石原 剛、清澤 智晴、黒川 正人、竹内 正樹、田中 克己、  
堤田 新、寺師 浩人、中岡 啓喜、中川 雅裕、林 明照、  
林 礼人、百束 比古、古川 洋志、迎 伸彦、元村 尚嗣、  
森岡 康祐、安田 浩、山下 理絵、吉龍 澄子

活動の概要：1. 専門医認定審査

### 【第3回開催】

日時：2013年11月6日(水)

※第22回日本形成外科学会 基礎学術集会前日

場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

申請者数：23名

受験者数：23名

合格者数：23名

### 【第4回開催予定】

日時：2014年10月8日(水)

※第23回日本形成外科学会 基礎学術集会前日

場所：キッセイ文化ホール(または近隣の会場にて開催)

※正式な会場は日形会誌 3月号または4月号 会告へ掲載  
予定

2. 教育セミナー

### 【第7回開催(第22回基礎学術集会 開催時)】

日時：2013年11月8日(金)8:00-9:00

事前受講申込者数：37名(当日欠席者0名)

当日レジュメ購入者数：1名

### 【第8回開催(第57回総会・学術集会 開催時)】

日時：2014年4月11日(金)8:00-9:00

事前受講申込者数：79名

3. 委員会

日 時：2014年4月9日(水)12:00-13:00

以後、総会・学術集会および基礎学術集会 開催時の年2  
回開催予定

#### 4. 皮膚腫瘍外科指導専門医シンポジウム

【第1回開催(第57回 総会・学術集会1日目)】

日 時：2014年4月9日(水)9:00-11:00

場 所：第6会場(NCC&スタジオ)

テ ー マ：“Unfavorable result cases～明日の治療に向けて”

司会：山本 有平(北海道大学医学部 形成外科)

寺師 浩人(神戸大学医学部 形成外科)

テ ー マ：“Unfavorable result cases～明日の治療に向けて”

司会：山本 有平(北海道大学医学部 形成外科)

寺師 浩人(神戸大学医学部 形成外科)

---

皮膚腫瘍外科における unfavorable result cases の

分類何が unfavorable なのか？

野村 正(神戸大学大学院医学研究科 形成外科学)

---

メラノーマにおける Oncological Unfavorable Result Cases

堤田 新(独立行政法人国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

---

リンパ節転移を生じた乳房外パジェット病の問題点

松下 茂人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学)

---

腫瘍切除後の眼瞼周囲機能的再建について

清水 史明(大分大学医学部附属病院 形成外科)

---

下肢の悪性腫瘍手術における functional unfavorable result

田中 克己(長崎大学医学部 形成外科)

---

足底原発皮膚悪性腫瘍切除後の再建における unfavorable result

古川 洋志(北海道大学医学部 形成外科)

---

顔面広範囲欠損再建における Aesthetic unfavorable result.

～unfavorable case から学んだこと～

元村 尚嗣(大阪市立大学大学院医学研究科 形成外科学)

---

皮膚腫瘍外科における Unfavorable result cases の捉え方

—Aesthetic な側面をふまえて—

林 礼人(順天堂大学医学部 形成外科学講座)

#### 18) 女性医師支援ワーキンググループ

委 員 長：吉村 陽子

担 当 理 事：鈴木 茂彦

委 員：饗場恵美子、小川 智子、館 正弘、田邊 裕美、寺師 浩人、  
徳永 和代、藤井海和子、舟山 恵美、森 文子、矢野 志春、

山下 理絵、山脇 聖子

開催年月日：①平成 25 年 11 月 8 日

その他随時メール委員会

- 活動の内容：1. 第 56 回日本形成外科学会総会・学術集会会長平林慎一先生に、女性医師支援に関する特別企画を依頼。4 月 3 日に特別企画「女性医師をどう育てるか」が開催された。
2. 上記特別企画内で昨年度の医育機関アンケート内容を報告した。
3. 第 57 回学術集会における同様の特別企画を平野会長に依頼。「女性医師のキャリア継続のために」が企画された。
4. 専門医更新の際の留保条件として、育児休暇を 1 年まで認めるよう、理事会に上申した。
5. 女性評議員枠の新設について討議した。
6. 学会中の託児について各学会に設置していただくよう理事会に申請し、承認された。今後費用負担について検討される予定。
7. 女性支援のためのHPを開設し、会員の子育て経験などを掲載していくこととした。

#### 19) ブレストインプラントガイドライン管理委員会

委員長：大慈弥裕之

副委員長：野平久仁彦

担当理事：朝戸 裕貴

委員：朝戸 裕貴、岩平 佳子、高柳 進、南雲 吉則、三鍋 俊春  
山本 有平

開催年月日：①平成 25 年 3 月 27 日、②平成 25 年 4 月 5 日、③平成 25 年 10 月 18 日、  
④平成 25 年 11 月 8 日

主な議題：乳房増大術ブレスト・インプラントガイドラインについて

- 活動の概要：1. JSAS（日本美容外科学会）との交渉経緯について報告し、ガイドライン最終案を提示した。
2. 厚生労働省への最終報告後の本委員会の活動スケジュールを討議した。
3. 2014 年 9 月に日本美容外科学会総会（JSAPS, 征矢野会長）から、本委員会主催の講習会を開催することを決定した。